

岐阜大学全学共通教育科目

「言語と文化」 選択言語の紹介



ドイツ語
Deutsch



アイスランド語
íslenska



中国語
汉语



スペイン語
Español



フランス語
Français



朝鮮・韓国語
조선어・한국어



ポルトガル語
Português





Deutsch

ドイツ語 Deutsch



フランクフルトの街並み

ドイツ語は中国語、英語、ヒンディー語、スペイン語などに次いで使用人口がとても多い言語です。ある資料によると、ドイツ語を母語として話す人の総人口は日本語と同じくらいで、その多さは世界で第10位(日本語は第9位)となります。

ドイツ語が話されている地域は世界のどの辺にあるのか知っていますか?ドイツという国がヨーロッパにありますから、「あの辺だろう」という漠然としたイメージは、みなさん持っていると思います。ドイツ語を公用語としている国は、ドイツ、オーストリア、リヒテンシュタイン、スイス、ベルギーそしてルクセンブルクです。いずれも中央ヨーロッパの国々ですが、そのうち、ドイツ語を唯一の公用語としているのがドイツ、オーストリア、リヒテンシュタインの3カ国です。スイス、ベルギー、ルクセンブルクでは、ドイツ語は公用語の一つにしか過ぎません。その他に、ドイツ語が話されている地域がこれらの国々の周辺(たとえば、イタリアの北部、フランス中東部など)と、また、まるで飛び地のように南・北アメリカ大陸、アフリカ大陸などにもあると言われています。

大学生になったら、英語以外にもう一つ何か外国語にチャレンジしてみましょう。ドイツ語を学ぶことは、これらの国々の文化、生活、学問、芸術などを知る上でのベースになります。ビール、ケーキ、お城、グリム童話、サッカー、自動車... あなたは何に関心がありますか?そこには、きっと未知の新しい世界が広がっているはずです。

(地域科学部 洞澤 伸)



ノイシュヴァンシュタイン城





フランス語 Français



エトワール凱旋門

フランス語は、フランス本国だけでなく、ベルギーやスイスなどのヨーロッパ諸国、またカナダなどアメリカ大陸の国々、そして西アフリカ諸国でも使用されている、国際的な言語です。フランス語を公用語としている国は29ヶ国にのぼり、これは英語に次ぐ世界第二の地位にあたります。国際連合の公用語として使われているのをご存知の方もいるかもしれません。

フランス語がこのような現在の位置を占めるまでになった背景には、当然フランスという国が歴史的に果たしてきた大きな役割があります。近代において、フランスの王朝はヨーロッパ全土に大きな政治的影響力を持っていましたし、文化や思想の分野でも多大な功績を残しました。みなさんもルイ16世とマリー・アントワネットの悲劇や、ナポレオンの活躍については世界史で習ったことでしょう。また、デカルトやルソー、あるいはユゴーやプーセントといった文化人の名前を聞いたこともあろうと思います。

日本でもフランス映画やシャンソンなどが流行した時期がありましたし、近年でもファッションブランドやフランス料理は高い評価を得ています。観光旅行の行き先としても魅力的で、世界有数の都市である首都パリだけでなく、のどかな南仏の風景も旅行者の心を掴んでいます。

フランス語は中世に広く使われたラテン語から派生した言語であり、同じロマンス諸語であるイタリア語やスペイン語とも類似性があります。そのため、広くヨーロッパ言語を学んでいくための間口としても最適です。幸い、岐阜大学にはフランス人の先生がいて、ネイティブなフランス語に触れることができます。フランス語を学び、こうしたフランスの歴史や文化に接してみるのはいかがでしょう。

(教育推進・学生支援機構 長谷川 暁人)



エッフェル塔





汉语

中国語

汉语



世界で最も人口の多い国、中国。日本と同じくアジアに属し、古くから文化的にも経済的にも日本と深いつながりがあります。現在においても、在留外国人のうち最も多い外国人は中国人ですから、中国出身の方、あるいは中国にルーツを持つ人と接する機会のある人は少なくないと思います。

そんな身近な中国ですが、国土は広く、歴史も長いですから、様々な魅力にあふれています。例えば、中華料理。“南甜北咸、東辣西酸”（南は甘く、北は塩辛い、東は辛く、西は酸っぱい）というように、地方によって違いがあります。食材も、日本ではほとんど口にしないようなものもあり、中国人の食に対する旺盛な好奇心に感心してしまいます。また、中国と言えば多くの世界遺産も有名です。万里の長城をはじめ、シルクロードや石窟、あるいは九寨溝やパンダの保護区など、一度は行ってみたいところがたくさんあります。

一方で、中国ではIT技術を多くの人々が享受し、買い物や食事の際に年配者でもスマートフォンで決済するのが当たり前となっています。ネットショッピングにデリバリー、タクシーの手配などと、社会に広く行き渡っています。そんな魅力あふれる中国では、方言も豊かですが、“普通話”と呼ばれる共通語があります。古いものと新しいものをどちらも大切にし、合理的でありながら人情にも厚い、そんな中国人の世界観を、中国の共通語を学びながらのぞいてみましょう。

(地域科学部 橋本 永貢子)



中国内のマクドナルド

2003 8 11





Português

ポルトガル語 Português



サルバドール市の
ペロウリーニョ地区

ポルトガル語が公用語の国は世界に8ヶ国ありますが、授業で勉強するのはその中でも最も話者人口の多い「ブラジル」のポルトガル語です。文化紹介もブラジルについて取り扱います。ブラジルと聞くと誰もが「サッカー」「コーヒー」「リオのカーニバル」「アマゾン」など何かしらイメージが湧く国ですよね。ブラジルは地理的には日本から遠いですが、実は世界の中で日本人・日系人が最も多く住んでいる国なんです。

ポルトガル語は日本ではあまりメジャーな言語ではありませんが、特にここ東海地方では在日ブラジル人が多いことから、非常に身近な言語です。名鉄や名古屋市営地下鉄にもポルトガル語表記がありますし、ブラジル人の多く住む市（岐阜県だと美濃加茂、多治見、大垣など）では、看板や広報などにポルトガル語が併記されたりしています。東海地方出身の人は、あまり意識していなくてもポルトガル語を目にしたたり、ブラジル人が話しているのを耳にしたったりすることがあったのではないのでしょうか。

ポルトガル語にはヨーロッパ系の言語に特有の男性名詞・女性名詞や動詞の活用など、英語にはない概念も多いことから、最初は少し難しく感じるかもしれませんが、スペイン語やイタリア語などとも似ているので、きちんと勉強すれば応用を利かせることもできます。ローマ字読みにわりと近い読み方なので、発音の決まりさえ覚えればすぐに読めるようになると思います。将来東海地方で就職する場合には覚えておいて損はない言語なので、ぜひこの機会にブラジル・ポルトガル語を勉強してみませんか？

(非常勤講師 瀧藤 千恵美)



リオデジャネイロ市の
パンジアスーカ





朝鮮・韓国語

조선어·한국어



みなさん、「韓国」と聞くと、どのようなイメージがありますか?「日本の隣の国」、「時差がない」、「日本人と外見が似ている」、「食べ物が辛い」、「K-POP」、「韓流ドラマ」等々、いろいろなイメージが思い浮かぶかと思います。地理的に距離が近いだけあって、日韓両国は歴史的にも関係が深いです。特に2000年代からは、スポーツや文化などの面でもさかんに交流が行われていて、お互い身近に感じる機会が増えています。また、言語の面でも、日本語と共通する点が多くあります。主な共通点としては、まず、日本語と語順が同じで助詞もあります。そして、日本語と発音がよく似ているものがたくさんあります。たとえば、「無理」は「무리(ムリ)」、「調味料」は「조미료(チョミリョ)」、「酸素マスク」は「산소마스크(サンソマスク)」などのように、発音を聞いて「日本語と同じだ!」と驚くものも少なくありません。このように、韓国語は日本語母語話者にとって学びやすい言語であるといえますが、スタートの時点で少しだけ努力が必要です。それは、「ハングル」という文字体系とその発音の習得です。皆さんがすでに知っているアルファベットや漢字、ひらがなカタカナなどとは全く異なり、ハングルはゼロから学ばなければならないため、最初は少し難しさを感じるかも知れません。しかし、ハングルはとても合理的な文字です。要領をつかんで効率的に覚えれば、その先は楽しい韓国語学習が待っています。この機会に、ぜひ新しい言語・韓国語に挑戦してみてください。

(非常勤講師 宮本桃子)



ハングル創始者・世宗大王 (15世紀半ばごろ)





íslenska

アイスランド語

íslenska



温泉施設・ブルーラグーン

アイスランド語は、日本ではあまり聞きなれない言語ですが、北欧の国アイスランドで話されている言葉です。北欧の国と言えば、スウェーデンやデンマーク、ノルウェー、フィンランドを思い浮かべると思いますが、実は、アイスランドも北欧の国の1つです。

アイスランドは、北極圏に近い北大西洋に浮かぶ島で、人口が約36万人(2020年現在)と小さいですが、北海道よりもひと回り大きい国土に壮大な自然が広がる国です。火山と氷河の国として紹介されることが多く、火山の島であるために、日本と同じように温泉がたくさん湧き出ており、温泉が吹き上がる間欠泉(ゲイシール)がとても有名な観光名所となっています。また、火山の地熱を活かして、地熱発電で多くの電力を生産したり、住宅に暖房を供給しています。また、北欧神話や入植の歴史を記したエッダやサガといった文学で有名な国です。

アイスランド語は、ノルウェー語、デンマーク語、スウェーデン語と同じ北ゲルマン語に分類され、もう少し広い分類で見ると、英語やドイツ語、オランダ語といった言語と同じインドヨーロッパ語族のゲルマン語派に属します。アイスランドは、もともとヴァイキングの人たちが9世紀ごろにノルウェーから入植してできた国であり、そこで話されているアイスランド語は、古い言語の特徴を現在も保持しており、豊かな語形変化を有しています。

普段、日本では触れる機会の少ないアイスランド語やアイスランドの文化を学ぶことで、世界の多様な言語や文化に目を向けてみてはいかがでしょうか。様々な言語に触れることで、皆さんの学びの視野が広がることを期待しています。

(地域協学センター 大宮 康一)



間欠泉(ゲイシール)



スペイン語 Español



スペイン語は世界21か国で公用語として使われており、5億人以上のネイティブスピーカーが日常的に話しています。知っていましたか？スペイン語話者の多くはスペイン以外に住んでいます。実はメキシコのスペイン語が世界で最も話されています。さらに、スペイン語はアフリカ・フィリピン・アメリカ合衆国でも使われています。大学で新しい言語を始めるなら、発音が日本語にとっても近いスペイン語はおすすめです。世界を旅したいなら、スペイン語ができると行ける場所もぐっと広がります。本授業は実践的な会話を中心に進めます。“¿No sabes ni jota del español?”(スペイン語、分かんんの?)大丈夫。この授業はゼロから始める人も歓迎です。

もしかすると、スペインのSagrada Familia(ガウディ建築)、アルゼンチンのTango、ペルーのMachu Picchu、メキシコのDía de los Muertos(死者の日)など、有名なイメージはすでに知っているかもしれません。でも、スペイン語圏の世界はそれだけではありません。国ごとに暮らし方はさまざまです。ローカルマーケット、現代音楽、スポーツ、ストリートアート、午後のシエスタ、そして友達とパーティー。サッカーは特別：スペイン語圏ではオブセッションであり、情熱であり、ときには“宗教”のような存在。試合の日には仕事を早く切り上げる人も多く、ワールドカップで自国代表が出場すると祝日になる国もあります。言語と文化は切り離せません。どちらかを学ぶことは、もう一方を知ることでもあります。この授業では、スペインからラテンアメリカ、そしてアメリカ合衆国まで、音楽・映像・会話を通してスペイン語圏の文化を紹介します。地域によってスペイン語がどう変わるのか、人々がどんな生活をしているのかを一緒に見ていきましょう。

きっと小さい頃から、知らないうちにスペイン語の言葉を使っていますよ：“pan”(パン)、“manto”(マント)、“carta”(カルタ)、“castella”(カステラ)、“tabaco”(タバコ)など。スペイン語の発音は日本語にとっても似ています。また、英語と似た単語も30~40%ほどあり、“doctor”・“actor”・“hospital”・“animal”見ただけで意味が分かることも少なくありません。授業では旅行で使える表現や日常会話を学びながら、文化的な背景も理解していきます。スペイン語はグローバル社会で役立つだけでなく、新しい価値観に出会い、自分の視野を広げてくれます。大学生活の第一歩として、スペイン語にチャレンジしてみませんか？

(工学部 カルバヨ アレックサンダー)

